

第2章 保健活動の実施企画

I. 保健活動企画総論

Our Mission センターの保健部門の役割とは…、

あいちの子どもたちの健全な成長・発育、こころと体のヘルスプロモーションを目指し、センター周囲の豊かな自然と療養環境の下、ボランティア活動を中心とした地域との共生から国際交流まで、幅広い視野で小児保健サービスに貢献します。

「情報サービス」、「調査・研究」、「保健医療相談」、「教育・研修」の4つの主要機能を縦横に駆使し、センターの医療部門や他の専門機関とも密に連携して、小児保健の中核的支援拠点として以下のサービスを提供します。また、マスメディア等も利用してあまねく事業を紹介し、数値目標などを用いた機能評価のもと、公共性と経済性に調和のとれた運営を行います。

Strategy 保健部門事業の展開方法とは…、

愛知県やわが国の保健医療の現状に対して、私たちが取り組むべき主要課題を次のように設定し、その課題解決に向けて、個々の活動を展開します。

- 1) 子ども虐待への予防・対応活動
- 2) 時間外電話相談活動
- 3) 子どもの事故予防活動
- 4) 子どもと家族のヘルスプロモーション活動
- 5) 在宅療養支援・地域との連携活動
- 6) 国際母子保健医療・学校保健活動
- 7) 多文化共生支援活動
- 8) 愛知県予防接種センター事業
- 9) 遺伝相談センター活動
- 10) 小児保健医療情報センター活動

II. 本年度の目標設定と活動企画

事業を活動に展開するにあたって、本年度の重点目標として次の2テーマを設定した。

- 1 妊娠、周産期からの虐待予防や虐待対応、「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援等、子育て支援を目的とした小児保健活動を進め、総合的な保健センター機能強化を図る。
- 2 医療と地域が連携した小児保健活動を推進する。

1. 子どもの虐待予防活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
・センター内での虐待対応の充実と地域連携の強化	・虐待予防・支援のための保健医療相談の実施 新規・継続事例への対応 ・虐待の早期発見・支援活動体制の充実 院内新規虐待事例への対応 虐待事例の進行管理の充実 相談・カンファレンスなどを通じた関係機関との連携の強化 院内虐待対応マニュアルの充実
・地域医療機関と保健機関の連携による、周産期からの虐待予防の推進	・ハローファミリーカードプロジェクトの拡大充実 ①カード所要見込みなど調査（4月）→カードの作成と送付（7月）②ファミカ通信→研修会後発行③研修会 H26.8.11(月)(アタッチメント)北川恵甲南大学教授 ・保健機関から周産期医療機関へのPR情報の整理①現状に合わせた様式の変更②調査（4月）→HPの更新
・施設職員を始め地域関係職員を対象とした研修会の開催で知識の啓蒙をはかる	・地域関係職員を対象とした研修会の開催で知識の啓蒙をはかる→心療科を中心としたコメディカルスタッフと共同で企画実施
・実態調査と考える会を通じた性教育に関する考察とネットワークづくり	・性教育に関する児童福祉施設職員への技術支援と年3回の会の開催（会の自立に向けての支援）

1-2. グループミーティングを用いた家族支援

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
グループミーティングで母親自身の自己肯定感を回復し、社会適応力の向上など、もともと持つ力を引き出すことで自身を成長させ、育児困難感の軽減や虐待を予防することを目的として実施する。	・実施日時：H26.9.19～12.12（金曜日）全6回、10時から、テーマはなし ・セルフアセスメントは来年は従来のものに加えて「PSI 育児ストレスインデックス」を追加して実施 ・心理士→前半面接、毎回記録、終了後聞き取り→評価のための資料に ・託児を実施

2. 時間外電話相談活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
・平日3人、土曜2人の相談体制の確保と相談員へのコンサルテーションの充実	・平日3人、土曜2人の相談体制での電話相談の実施
・多様化する相談内容に対応するため、相談員間の交流、情報交換	・電話相談員連絡会（研修会）の開催：年3回 定例化し、相談員間の意見交換を図る。 （電話相談技術研修会、小児救急に関する対応、虐待予防、困難事例の対応等）

・相談情報の分析による母子保健ニーズの抽出と情報の還元	・相談内容の分析の情報発信（まとめ作成、ホームページによる情報提供）
・周知方法についての工夫	・小児救急電話相談等他の相談機関の現状把握と当相談の役割検討を継続。

4. 子育て支援と地域連携

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・医療部門、保健部門と地域との連携の充実のため、院内子育て支援マニュアルの活用促進を図る。 ・乳児期の子どもを育てることに困難がある家族が、不適切な養育に陥らないよう未然にその持てる力をエンパワーする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援マニュアルにより、院内連携のもとケース支援を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを含めた子育て支援での視点で医療部門・地域関係機関と連携し支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「HOT ケース連絡票・退院サマリー」を活用して支援を行う。 ・地域の保健機関や訪問看護ステーションなど在宅支援体制の調整を図る。

4-2. 訪問看護ステーション研修

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・小児訪問看護の受け入れを推進し、看護連携を密にし、患者・家族の支援体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション研修を実施。

5. 母子保健スキルアップ研修

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所保健師の母子保健と児童虐待予防に関する幅広い知識と技術の習得のため実務研修を企画実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・4、5年目新任保健所保健師を対象とした、あいち小児センターでの母子保健に関する研修を企画実施する。(前期 7月 後期・11月) ※児童家庭課共催

6. 保育リーダー研修

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・全県下の中堅の保育士が、障害を持つ子ども達の理解と対応の基本的な知識と技術について学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修回数 5回 対象人数 36名（対象は名古屋市、中核市も含める。） 5月～1月 ・講義（発達障害に関する） ・各回にグループワークにて事例検討を実施。 （参加者全員が特定の保育・観察対象児を決め、継続的な観察を実施する） ・成果物（報告書）の作成

第2章 保健活動の実施企画

7. 生活習慣病予防活動：アチェメック健康スクール

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・肥満のある小学生及びその保護者への効果的な指導プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アチェメック健康スクール外来 毎月第2土曜日 内容：(個別) 外来診察、医学的検査、歯科検診、歯科指導、栄養指導、保健指導、心理検査、体力チェック、親子運動プログラム(集団) 講話年4回 ・県内養護教諭に県教育委員会を通じて周知 ・保健所、市町村に周知

7-2. 生活習慣病予防活動：親子のタバコ対策活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て禁煙外来」と地域の禁煙外来情報を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の禁煙外来情報に、保護者がアクセスできるような情報のポスターを作成する。

8. 愛知県予防接種センター事業

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種に関する情報提供など、接種要注意者、海外渡航者等への相談対応の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査検討委員会 1 回 ・調査検討委員会研究部会 2 回 ※調査研究は研究部会で検討する ・予防接種の保健医療相談 接種要注意者、海外渡航者への予防接種計画・実施 ・予防接種に関する研修会の実施 ・予防接種に関する情報の提供

9. 遺伝相談活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・一次相談機能の充実 ・広報などを通して相談ニーズのある人への働きかけをする ・保健所・市町村保健センター等との連携を図り、遺伝疾患の理解や相談に関する知識・技術を磨き患者・家族の支援に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝相談カウンセラーによる面接相談 ・電話・ファックス・メールによる相談と情報提供 ・広報・ホームページによる情報サービス ・遺伝相談窓口の院内・院外周知の徹底

10. 子どもの事故予防活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事故予防ハウスや事故予防活動について見直し、内容を充実させる。 ・事故サーベイランス事業にて加入事業の実施、評価し、有効な事故予防策を提示する。 ・事故予防情報の発信及び地域における事故予防事業への支援健康教育の実施。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 事故予防ハウス運営、掲示物の見直し 2 事故予防教室 <ul style="list-style-type: none"> ・事故予防ハウスでの教室開催：10 回(3・4 月を除く第3 土曜) 近隣市町の広報記載、保セでのリーフレット・案内チラシの配布・ポスター掲示 ・病棟での出前講座の実施：毎月開催(病棟により異なる) ・地域における事故予防事業への支援及び健康教育の実施 3 事故サーベイランス事業の継続(2 市対象：11 年目)

11. 国際母子保健医療活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
・国際的視野での小児保健活動を展開する中で、母子保健医療分野での開発途上国等の人材育成とシステム開発の支援を目指す。	① 名古屋大学大学院医学系研究科 ヤング・リーダーズ・プログラム (YLP) 医療行政コース留学生への講義。 ② JICA 技術協力プロジェクト The Project for Improving Maternal and Child Health Care System in Khatlon Oblast への協力

12. 国際学校保健活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
・国際的視野での小児保健活動を展開する中で、学校保健分野での開発途上国等の人材育成とシステム開発の支援を目指す。	・集団コース (学校保健) の運営 国際協力機構 (JICA) 中部国際センターが実施する開発途上国の研修員向け研修会のコースリーダーとして運営に協力する。

13. 多文化共生支援活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
・わが国に暮らす外国人の子どもが適切に医療や教育を享受できるよう支援する。	・あいち医療通訳システムの実施 医療通訳派遣年間 100 件を予定 ・医療通訳養成講座への協力 医療現場でのロールプレイ研修への協力 ・日本で暮らす外国人の保健医療情報に関するアンケート ・ブラジル学校での学校健診事業への協力

14. 小児保健医療情報サービス活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
ホームページ：広報委員会と連携して実施。 更新システムの改修	・ホームページの運営・管理 ・患者・家族会の情報更新 ・各マニュアルなどの冊子の内容を掲載
・広報誌の発行	・「アチェメックの風」 計4回第40号～

15. 乳幼児健康診査データ集計分析活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
改訂母子健康診査マニュアルの推進 ・市町村における個別データ取り扱い支援 ・保健所の集計業務及び今後の母子保健活動におけるデータ利活用への支援 ・県の集計業務及び今後の母子保健活動におけるデータ利活用への支援	・市町村・保健所における個別データ取り扱いの相談支援 ・保健所が開催する会議及び研修会に協力 ・児童家庭課と協力して進行管理 ・保健所、県単位での個別データの利活用

16. 愛知県小児保健協会運営活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
・愛知県小児保健協会総会及び研修会の開催 ・会報 13 号の作成	・平成 27 年 1 月 25 (日) 実施予定

17. その他活動

平成 26 年度目標	平成 26 年度計画
<ul style="list-style-type: none"> ・県民公開講座を通じ、あいち小児センターを県民に PR する。 ・センターの見学を通じ、保健センターの役割を周知し、関係機関との連携を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民公開講座：地域、講師は未定。12月から2月 ・見学・研修：10回（4月と1月を除く第1金曜日）

Ⅲ. 各活動の実績とその評価の考え方

保健センターの活動は、(P)Plan:課題解決の仮説設定と事業企画、(D)Do:事業実施、(C)Check 事業実施量・達成度の測定、(A)Action 事業評価と見直し、の PDCA サイクルによって有効性を検証し、scrap and build を実施した。

「第Ⅲ章 各活動の実績とその評価」においては、下記の考え方に添って、具体的に活動内容ごとに、実績と評価を示した。

活動名	保健部門が取り組む主要課題、活動名。
これまでの取り組み	なぜ課題が生じたのか、日本と愛知県の歴史的、社会的、保健医療的背景を踏まえながら、センター開所以来、当センターが取り組んできた活動の概括を示す。
活動内容	どのような活動を展開したのかなど、本年度の具体的な取り組みを示す。
評価方法	活動の効果はどのように測定し、評価を受けるのか。その方法を示す。
評価	具体的な評価を示し、活動の効果や継続性の意義を明らかにする。